

学ぶ喜び

VOL.18

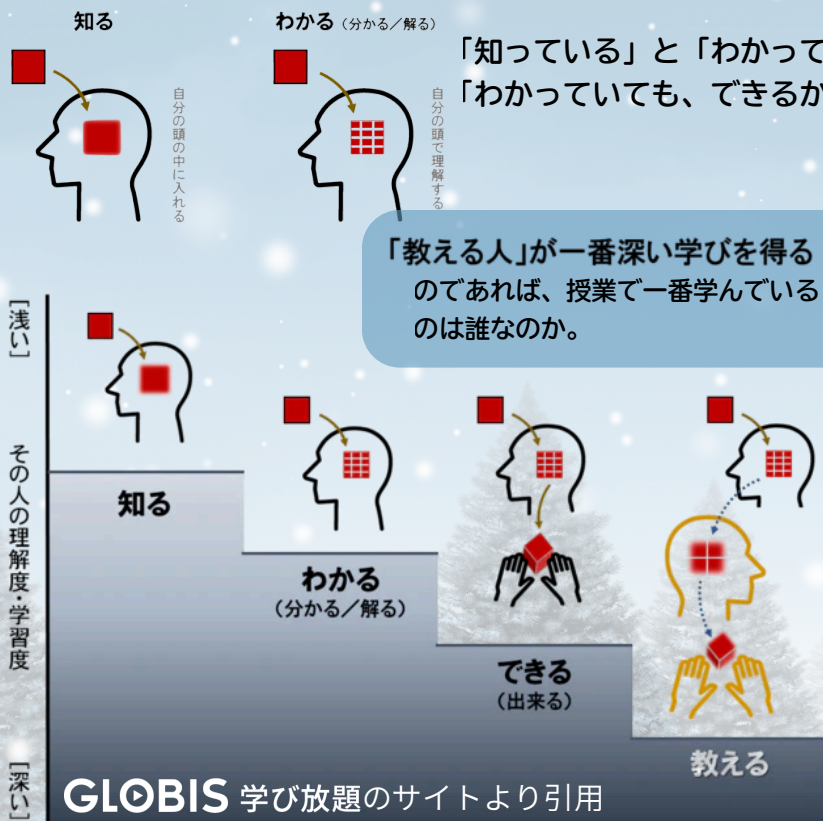
2025.11.26 ー仲間とともにつながる学校へー

「TM通信」を書きながら

いつもTM通信をお読みいただきありがとうございます。ここ最近、TM通信を書きながら「こんなに情報詰め込んだら読んでもらえないよなー」と思っています。ま、それでも書いてしまうんですが。

今年、TM担当ということで、いろんな学校の公開研究会や講演会に参加させていただいています。外に出ることので得られた気づきを、この紙面を通して共有させていただきながら、書いている私自身が一番勉強させてもらってるなあと、ありがたく思っています。

「教師は教えた≠生徒はわかった」



多様な「視座」を獲得するということ

以前、「視座」が教育の質に大きく関わるという話を共有しました。「視座」とは、物事をどこから見るかという根本的な位置であり、さまざまな視座を持つことで、目の前の活動を「子どもの未来、学校全体の教育、そして社会のあり方」という大きな絵の中で位置づけて捉え直すことができます。外部の公開研や講演会に参加することは、この多様な「視座」を磨くチャンスになります。12/5には神田小学校の公開研があります。普段ゆっくり考えられない方向から、子どもたちの学びについてともに考えられる機会としたいです。

先日、3年生の授業で

どのフォントでもいいの??

いいよ。

え、でも、どんなフォントがこのプレゼンにふさわしいんやろ。

どうやらな。

ちょっと、しらべてみよ。

3年生の国語の授業で、ちょっと欲張りすぎる課題を出していて…

- ①ロイロから卒業しても、プレゼンできる見通しを持つ。
- ②9年間の学びを振り返る。
- ③そもそも「学ぶ」とはどういうことか、自分はどう学んできて、これから、どう学んでいこうと思うのか、の3つを1つの課題で網羅するという…難しいよ、3年生、でも、一緒にやってみようよ！というものです。

そのなかで、(Canvaでプレゼンを作っているんですが) 上記のようなやり取りがありました。意図せぬところでこういう流れがあったので、お！と思いましたが、これだけでも、生徒の「??」が顔を出す一瞬って大事なと思ったできごとでした。(あのとき、UDフォント使おうか！と即答しなかった自分自身の変化も感じました…2年前なら、すぐに教えてたな、と。)

昨日の園田先生の講演を聞いても、やはり、授業の中(もちろんそれ以外にもありますが)の生徒の「??」をうまく拾って、学びにつなげる手助けができる人になりたいと思いました。教科の内容と、ICT活用能力の育成と、両方やっていきたいという欲張りな課題に、必死についてきてくれる、3年生に感謝です。